

<4月のギャラリー展示>

『まかないごはん絵日記』

4月の展示は、美帆さんという人の『まかないごはん絵日記』の展示です。美帆さんは、物作りと学校、ギャラリーの三つを発信する工房で、全ての仕事に関わりながら、毎日その日工房に居る人たちのまかないを作っていました。調理時間は30分を目標に。暇はないけど、手間をかける努力はするを心がけ、ちょこっとトッピングの工夫で、食欲をそそるビジュアルも大切にして。美帆さんは、学生時代から美味しい物を食べた絵日記をつけていたそうです。そのノートをみた工房の主宰者が、まかないごはんも記録して欲しいと頼まれたのが、この展示の絵日記です。毎日、その日のまかないの写真を出力して手渡され、家に帰ってから毎晩絵日記を描く。ユーモアたっぷりのネーミングとイラストを見ると、クスッと微笑んでしまいます。そして、本当に美味しそう。どんなに忙しくても、食べてくれる人を思いながらの笑顔で台所にたっていた美帆さんのまかないは、工房のみんなの体を元気にしてくれて、人と人をつなげてくれたそうです。



<虹色ハウスのお菓子>

美帆さんは、入院している患者さんのご家族が宿泊する『虹色ハウス』のお菓子を作ってくれました。いつも、かわいいイラストが描かれたラッピングでした。

